

特集 和船が運んだ文化

人や荷を積んで水上を船で行く——これは世界中のさまざまな民族がもつ昔からの「知恵」である。日本も例外ではなく、一本の木を刳り抜いた丸木舟は縄文時代から、しかもかなり大きなものが使われていた。

江戸時代の経済・文化の隆盛を海運で支えたのは弁才船、いわゆる千石船だ※。これに代表されるように、幕末以降に洋式船舶が導入されるまで、移動や物流、漁業などに用いられた船を「和船」と呼ぶ。日本の主要な都市が大きな河口や海岸沿いに多いのは、海運や河川の舟運なしには成立しにくかったからだ。

船による交易で賑わい、独自の文化をもつに至った港町・湊町は枚挙にいとまがない。なかでも今回は、和船で人やものや技が伝わったことで生まれた、あるいは変容した文化に着目した。意外な結びつきのある複数の地域を巡ると、時空を超えて今日にも続く壮大な人の営みが見えてくる。

※弁才船と千石船について

江戸時代の海運の主力として全国的に活躍した代表的な廻船の船型が弁才船。そして1000石積前後の弁才船が普及するにつれ、積石数にかかわらず大型廻船と弁才船、両方の意味をもたせた「千石船」の呼称が一般化した。

目次

巻頭エッセイ

2 旅先で水を失ったとき 椎名誠
ひとしずく

特集

5 和船が運んだ文化 4つのストーリー
概論 構造と機能の盛衰史 安達裕之

9 和船が運んだ文化 4つのストーリー
Story 1

10 昆布ロードがもたらした明治維新と食文化
Story 2

16 陶器がつなぐ奥州と東海
Story 3

22 北前船が運んだ民謡——江差追分と小室節
Story 4

27 古式捕鯨にみる「人の行き来」と「技の伝播」

34 今見られる！乗れる！和船MAP 編集部

35 和船時代の心意気 編集部
文化をつくる

連載

36 丸木舟から帆船まで 古賀邦雄
水の文化書誌 45
食の風土記 6

38 伏流水と「もったいない精神」が生んだ六田麩
魅力づくりの教え 6

40 温泉観光地バージョンアップのしくみ 静岡県熱海市 中庭光彦
Go! Go! 109 水系 11

45 神話とたたら——出雲の民の暮らしを支えた斐伊川 坂本貴啓

50 センター活動報告

51 編集後記／ご案内

(敬称略)